TEAM MATE ひろしま

教材づくり研修を開催

作成した教材を活用した実践も

7月29日（土）～30日（日）に、TEAMMATEひろしま学習・交流会（第1回）「教材づくり」を開催し、6団体9人が参加して、8つの教材を作成しました。

今回の学習・交流会は、一泊二日の宿泊研修で教材を作り上げるという、非常にタイトな研修でしたが、参加者が事前に準備をしていたおかげで、完成することができました。

この研修に参加した団体のうち、府中町脱温暖化市民協議会は、SDGsを楽しく学習することができる「SDGsカルタ」を作成し、府中町公衆衛生推進協議会と協働で、9月15日（金）に、府中町立府中中央小学校4年生の「環境学習」で、実践しました。

府中町脱温暖化市民協議会が作成した「SDGsカルタ」は、小学3年生から中学生を対象とした、絵札がA2サイズの大きなカルタです。SDGsの17のゴールを1枚ずつカルタに記載し、楽しく学ぶことができます。

府中町立府中中央小学校4年生は5クラス137人で、クラスごとに絵札を1セット用意しました。推進委員が読み札を読み、絵札を取った児童には、絵札に書かれているSDGsの解説を読んで発表してもらい、みんなで理解を深めました。また、SDGsクイズを児童全員で行い、世界で起こっている問題を考える機会となりました。

SDGsは小学校の授業でも学習しているテーマですが、カルタやクイズにすることで、楽しく学ぶことができました。

参加した児童からは、「蛇口をこまめに閉めたり、食べ物を残さずしっかり食べたい」「自然の大切さがよく分かった」などの、感想がありました。

完成した8つの教材は、脱温暖化センターひろしまの貸出教材として整備していますので、学習会などでご活用ください。

（脱温暖化センターひろしま）

教材を作成する推進員（上）、「SDGsカルタ」を楽しむ子どもたち（下）

「教材づくり研修」参加団体と作成教材の一覧

参加団体名	作成教材
府中町脱温暖化市民協議会	・SDGsカルタ
広島市地球温暖化対策地域協議会	・STOP !地球温暖化双六
くれ環境市民の会	・えこすごろく
大崎上島けんこう文化の島づくり協議会	・エコかるた
福山北部脱温暖化地域協議会	・グリーンカーテン効果体感ツール ・目指せ「省エネ」エキスパートクイズ
門田地球温暖化対策協議会	・グループ対抗!門田川をめぐる楽しい巨大すごろく ・コンポスト冊子

廿日市市公衛協

断熱窓ワークショップを開催

内窓や断熱材の設置を体験

8月30日（水）に、廿日市市公衆衛生推進協議会が、令和5年度地域活動支援基金活用事業「環境と健康のコミュニティ活動助成事業」を活用して、廿日市市四季が丘市民センターで「断熱窓ワークショップ」を開催し、地元の小中学生など19人が参加しました。

指導を受けながら断熱材の加工を行う参加者

今回のワークショップでは、四季が丘市民センターの図書室の窓に内窓を、壁に断熱材を設置し、施工前と施工後の室温や窓の温度を測定して、効果を確認しました。既存の窓だけの場合と内窓を設置した場合とでは、温度差が約8℃あり、参加した子どもたちは驚いていました。

内窓の設置、断熱材の切り出しや貼り付けは、Forward to 1985 energy-lifeひろしま支部（建築士、設計事務所など）、地元企業のユダ木工株式会社の指導の下、作業を行いました。また、窓メーカーのLIXILから、窓ガラスやサッシの性能の違いを説明してもらい、模型や実物を触りながら体感しました。

参加者からは、「材料の切り出しや、貼り付けが体験できてよかった。」「内窓Low-eガラスの効果が体感できた。」「楽しかった。」など感想がありました。

今回の取り組みを通じて、市民センターを利用する多くの市民に、断熱窓の効果を知ってもらい、省エネルギーで、快適で健康に良い暮らしに繋げるきっかけになればと思います。

（地域活動支援センター）

内窓を設置している様子

環保協

西食衛協 総会・研修会開催

当協会の理事長が会長を務める西日本地区食品衛生登録検査機関研究協議会（以下『西食衛協』）の第29回総会・研修会が2023年8月24日(木)から25日(金)の日程で山口市で開催され、中国・四国・九州の16検査機関から68名の職員が参加しました。

西食衛協は、平成8年に設立され、現在は食品衛生法に基づく厚生労働省の登録検査機関のうち、西日本地区（中国・四国・九州）に本部が所在する17の財団系・社団系の検査機関が加盟する食品衛生の研究協議会です。この協議会は、食品衛生に関する研究や情報交換を行うとともに、適正な業務管理や技術向上に寄与することを目的としています。主な活動は、年に1回開催する総会・研修会に加え、3年に1回開催する技術研修会です。

今回の研修会では、業務管理に関する部門、理化学検査部門、微生物検査部門および経営管理に関する部門の4つに分かれ協議を行いました。検査業務における組織運営に関することや精度管理に関すること、また、理化学試験および微生物試験に関する分析技術のこと、そして人材育成などについて意見交換が行われました。

当協会は、本研究協議会発足当時から事務局を担当しています。今後も、本協議会の運営を通じて会員機関の情報交換を図るだけでなく、食品の安全・安心を科学でサポートする検査機関として貢献していきたいと思います。

（環境生活センター）

熱心に聴講する参加者